

令和7年度 学校評価報告書(松山市立幼稚園統一様式)

幼稚園番号	
幼	2

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる)  
2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

松山市立 五明 幼稚園

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上  
B:肯定率の平均が60%以上90%未満  
C:肯定率の平均が60%未満

園長 和田 俊樹

※ 肯定率とは、評定(%)の評定4と評定3の合計値です。 ※ 色が付いているセルのみ入力してください。

評価領域	評価指標	総合判定	対象	肯定率	評定(%)				評定平均	○成果 もしくは ◆改善策
					4	3	2	1		
教育方針・教育計画	幼稚園は、教育目標や重点目標にそった教育活動を行っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	○教育目標や重点目標を指導計画や学級経営案に具現化し、教育活動に反映させた。 ◆引き続き、教育計画にそった教育活動が展開できるよう、立案や見直しをしていく。 ○一人一人の発達段階や支援の方向性を多面的に捉え、活動内容や行事に生かした。 ◆引き続き、幼児理解に努め、発達段階に即した活動内容となっているか見直しを行う。 ○興味や関心に応じて環境を整えることで、一人一人が主体的に遊びに取り組めた。 ◆引き続き、興味をもったことに自ら取り組み、遊びを通して学ぶ力の基盤を育てていく。 ○全体の評価が高い。地域の自然遊びや地域行事など、五明ならではの活動が行えた。 ◆引き続き、地域と連携した行事の充実を通して、五明地域への愛着の心を育てていく。 ○思いを受け止められることで、相手の気持ちにも気付く姿が見られるようになった。 ◆引き続き、自分以外の他者の気持ちに気付いたり、考えたりする機会を大切にしていこう。 ○毎日の安全点検、ヒヤリハット事例の即時対応と共有により、安全な環境で活動できた。 ◆引き続き、環境整備と幼児への安全指導を通して、安心・安全な園生活の保障に努める。 ○全体の評価が高い。一人一人の健康状態を共有し、家庭と連携して身辺自立を図れた。 ◆引き続き、家庭と連携して基本的な生活習慣の定着に取り組んでいく。 ○定期的な換気、手洗いうがいの習慣付けを行い、疾病流行を予防した。 ◆引き続き、丁寧な手洗いうがいの習慣の定着を図り、感染症対策を行っていく。 ○少人数保育の強みを生かし、一人一人の特性に応じた援助や環境の保障を行った。 ◆引き続き、少人数保育だからこそできる援助を工夫し、一人一人の良さを伸ばしていこう。 ○常に教職員間で目的を共有して相談、協力することで、保育の充実を図った。 ◆引き続き、職員間で積極的に意見交換や協力をし、より良い教育活動を実施していく。 ○研究主題に基づいた事例研究、園内研修会を行い、教職員の実践力向上に努めた。 ◆引き続き、自己課題をもって研修に努め、教職員の資質、能力の向上に努めていく。 ○地域や保護者の理解と協力を得て、五明だからこそできる体験活動が行えた。 ◆引き続き、積極的に地域や保護者と連携・協力し、教育活動の充実を図っていく。 ○全体の評価が高い。様々な方法で、本園の教育活動の情報提供を行った。 ◆引き続き、様々な方法で、園の教育活動や保護者の知りたい情報を発信していく。 ○全体の評価が高い。研修を通して、発達段階や教育方法の相互理解を深めた。 ◆架け橋期のカリキュラムを活用して交流活動を計画、実施、見直しを行っていく。 ○今年度も預かり保育試験の実施を行い、保護者ニーズに応じて可能日に実施した。 ◆引き続き、実施可能日を事前に知らせ、育児負担軽減や就労希望のニーズに対応する。 ○毎週2回の保育室開放、毎月の製作遊び等、未就園児親子のための場を提供した。 ◆引き続き、活動の計画、実施を行い、地域の子育て支援の拠点となる場づくりをする。
			学校関係者	100	93	7	0	0	3.9	
	幼稚園は、幼児理解に努め発達段階に即した教育・行事を行っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	87	13	0	0	3.9	
	幼稚園は、遊びを通しての総合的な指導を行い、援助・環境構成の改善に取り組んでいる。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	93	7	0	0	3.9	
	幼稚園は、地域に根ざした特色ある教育を行い、郷土を大切に思う幼児の育成に努めている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
人権・同和教育	幼稚園は、人権・同和教育の視点に立ち、一人一人を大切に、自分も友達も大事にする意識や態度を育てている。	A	教職員	100	67	33	0	0	3.7	
			学校関係者	100	93	7	0	0	3.9	
安全管理	幼稚園は、幼児にけがや事故防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	88	13	0	0	3.9	
保健管理	幼稚園は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、健康、安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くように指導を行っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
	幼稚園は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を必要に応じて行っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	87	13	0	0	3.9	
特別支援教育	幼稚園は、幼児一人一人の特性に応じた配慮や指導を適切に行っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	87	13	0	0	3.9	
教師間連携	幼稚園は、教職員間で共通の目的に向かって協働的に保育に取り組んでいる。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	87	13	0	0	3.9	
研修	幼稚園は、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	A	教職員	100	67	33	0	0	3.7	
			学校関係者	100	79	21	0	0	3.8	
保護者・地域との連携	幼稚園は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
情報提供	幼稚園は、園だよりやクラスだより、ホームページ、Instagram等により積極的に情報を発信している。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
幼保小連携	幼稚園は、小学校への円滑な移行に向けて、学びの連続性を保障するために関係園・校で連携を図っている。	A	教職員	100	100	0	0	0	4.0	
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
子育て支援	預かり保育は、幼児の生活リズムを踏まえ、無理のない活動を取り入れつつ、保護者ニーズに対応している。	A	教職員	100	67	33	0	0	3.7	
			学校関係者	100	85	15	0	0	3.8	
	幼稚園は、地域の子育て支援の充実に向けて取り組んでいる。	A	教職員	100	67	33	0	0	3.7	
			学校関係者	100	86	14	0	0	3.9	